

「靈の書」(中) — 目次

訳者序 3

第二部 靈魂の世界(つづき)

十一章 魂の解放 15

睡眠と夢 [四〇〇〜四一二]・生靈間の交通 [四一三〜四一八]

思想伝達 [四一九〜四二二]・昏睡・硬直・死 [四二二〜四二四]

夢遊病 [四二五〜四三八]・没我状態 [四三九〜四四六]

千里眼 [四四七〜四五四]・夢遊病・没我状態・千里眼の解説 [四五五]

十二章 地上界での靈の介入 55

靈が吾々の思想をのぞく [四五六〜四五八]

吾々の思想や行為に靈が及ぼす影響 [四五九〜四七二]

憑依 [四七三〜四八〇]・けいれん [四八一〜四八三]

十三章 霊の仕事と役割 115
〔五五八〜五八四〕

霊が人に及ぼす影響〔四八四〜四八八〕
守護霊・守護天使〔四八九〜五二一〕・虫のしらせ〔五二二〜五二四〕
人生の出来事に及ぼす霊の影響〔五二五〜五三五〕
自然現象の創造における霊の作用〔五三六〜五四〇〕
戦闘中の霊達〔五四一〜五四八〕・霊との契約〔五四九〜五五〇〕
魔力、魔除け、魔法使い〔五五一〜五五六〕・祝祷と呪詛〔五五七〕

十四章 三つの支配 131

鉱物と植物〔五八五〜五九一〕・動物と人間〔五九二〜六一〇〕
輪廻〔六一一〜六一三〕

第三部 道德の法

十五章

神法すなわち自然法

自然法の性格〔六一四～六一八〕・自然法に関する知識〔六一九～六二八〕
善と悪〔六二九～六四六〕・自然法の区分〔六四七～六四八〕

155

十六章

崇拜の法

崇拜の目的〔六四九～六五二〕・崇拜の実践〔六五三～六五六〕
瞑想の生活〔六五七〕・祈り〔六五八～六六六〕
多神教〔六六七～六六八〕・犠牲〔六六九～六七三〕

171

十七章

労働の法

労働の必要性〔六七四～六八一〕・労働の限度、休息〔六八二～六八五〕

191

十八章

再生産の法

197

- 地球の人口〔六八六～六八七〕・種族の維持と改善〔六八八～六九二〕
- 再生産の障害〔六九三～六九四〕・結婚と独身〔六九五～六九九〕
- 一夫多妻〔七〇〇～七〇一〕

十九章

自己保存の法

- 自己保存の本能〔七〇二～七〇三〕・自己保存の方法〔七〇四～七一〇〕
- 大地の賜物の享受〔七一～七一四〕・必要と過剰〔七一五～七一七〕
- 耐乏生活〔七一八～七二七〕

205

二十章

破壊の法

- 必要な破壊と不合理的な破壊〔七二八～七三六〕・災害〔七三七～七四一〕
- 戦争〔七四二～七四五〕・殺人〔七四六～七五一〕・残虐〔七五二～七五六〕
- 決闘〔七五七～七五九〕・斬首刑〔七六〇～七六五〕

219

二十一章 社会の法……………239

社会生活の必要性〔七六六～七六八〕・孤独の生活〔七六九～七七二〕
家族―縁〔七七三～七七五〕

二十二章 進歩の法……………245

自然状態〔七七六～七七八〕・進歩の行進〔七七九～七八五〕
退化する民族〔七八六～七八九〕・文明〔七九〇～七九三〕
人間の法律の進歩〔七九四～七九七〕
進歩に対する心靈主義の影響〔七九八～八〇二〕

〔靈の書〕(上・下) 目次……………263